



損益計算書上は黒字であっても、資本コストを下回る事業は持続可能性を失っている状態であり、回復が難しいと見込まれた段階で売却を決断することが望ましいとされた。早期の決断こそ、事業切り出しを行う企業のみならず、当該事業の従業員の利益になるとの考え方に基づく。

今求められるカーブアウトM&Aの実践を知るうえで打ってつけの一冊だ。（2022年12月発売）

文：M&A Online編集部